

どうして借金するの？

市が行う借金を『市債』といいます。

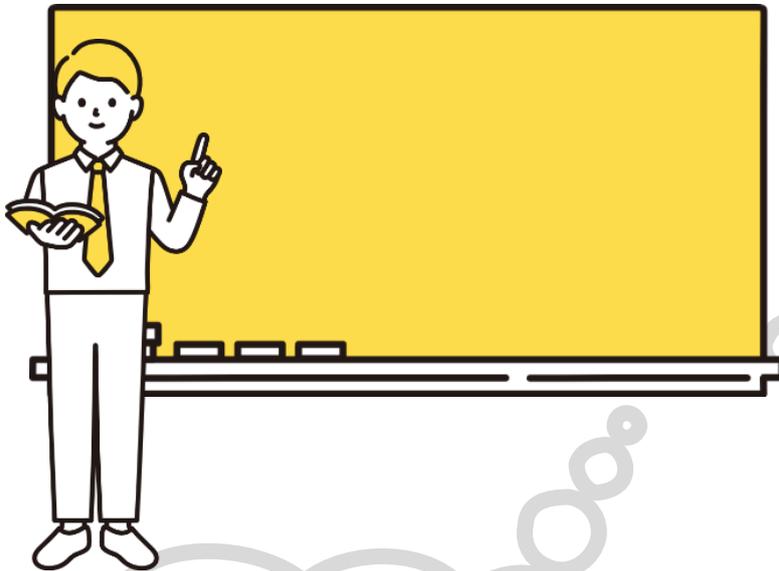
市債には、「**毎年の支出を平均にする役割**」と「**現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割**」があります。

公共施設の建設には一時期に多額のお金が必要になります。

これをその年度の収入だけで賄ってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。

また公共施設は、現在の市民だけでなく、長期間にわたって将来の市民も利用するため、公平にその費用を負担してもらうという意味から、市債を活用しています。

借金をしないとどうなる？



たとえば
小学校の建設にかかった費用を
いちどに支払ってしまうと…

建設費用を
その年度の市民だけで
負担することになり、
市民ひとりあたりの
負担は大きくなります



学校や保育園の運営、
道路の整備や管理などに使える
お金が足りなくなってしまいます



借金をすると…

建設費用を将来の市民も
公平に負担することになり、
ひとりあたりの負担は
小さくなります

